

福岡県立大学 人間社会学部 社会福祉学科(学校推薦型選抜 公募制)

『目標』

自分は、中学生の時から夢が決まっていたその夢を実現するために高校では、良い成績を残すことを目標に、テスト勉強、授業の予習、復習を頑張りました。自分は、期限が間近にならないとやる気が出なかったり、緊張感が持てなかったりしたので受験勉強に気持ちを持っていくことに時間がかかりました。しかし、自分には、目標があったのでその目標に向かって勉強に取り組むことができました。また、周りの友達と一緒に勉強してくれたり、担当の先生がわからないところをわかるまで教えてくれたりしたので、最後まで真剣に取り組むことができました。後輩の皆さん、目標を作ることが大切だと思います。また、一緒に勉強してくれる友達や応援してくれる友達も大切だと思います。

北九州市立大学 文学部 比較文化学科(一般選抜)

『北九州市立大学文学部の徹底攻略—過去問をやるべし』__美術部・ESS部

私は先生方や友達、家族の大きな支えのもと、北九州市立大学に合格しました。ここには私の勉強法とアドバイスを書きましたので、参考にしてください。

まず共通テストについてです。国語、英語、日本史Bを受験しました。国語の古文漢文は、授業で習う重要な文法と最低限の単語をおさえることです。あとは過去問を解くことですが、一つの大問から得られる知識は全て掴み取るつもりで、口語訳から書き下し文から徹底的にやると得点アップします。英語は、長文に怯まず、回数を重ねればだんだん読めるようになります。設問を先に読み、そこから本文の内容を掴んでおくといいです。リスニングは、毎日1.1倍速で単語帳の例文の音声や過去問を聞きました。本番の音声がとてもゆっくり聞こえるので倍速はオススメです。日本史Bは、教科書と参考書を見比べ、政治の流れや事件を中心に、自分なりに大切な部分をまとめた年表を作り、何度も見直しました。過去問を解いているとどのようなところが問われやすいか分かってくるので、そこを重点的にやり直すといいです。事件名や総理大臣などは自分でゴロでもあだ名でも付けて、とにかく覚えましょう。

次に2次試験の総合問題についてです。内容は国語と英語の記述式です。国語に関しては、現代文の内容を問う問題のほか、慣用句の意味や漢字の書きとりがありました。慣用句は参考書で、漢字は学校のテキストで復習しました。英語は、和訳が大半を占めるので部分的に分からないところがあっても白紙にせず、理解できた単語の意味や訳は必ず書いておきました。英訳は、参考書で短文形式の問題を何度も解きました。

全体的に言えるのは、過去問を徹底的に解けば今までの傾向、出題者が出しやすいところ、頻出単語等が分かり、本番までの準備もできるため非常にオススメです。解きっぱなしにせず、躓いたところや分からなかった単語をまとめたノートを作り、自分の弱点を明確にすることで得点が伸びました。推薦合格者が続々と出ますが、周りに振り回されることなく、絶対受かってみせるという強い信念を持って自分の道突き進んでください。応援しています。

福岡工業大学 工学部 知能機械工学科(一般選抜)
福岡工業大学 工学部 電気工学科(共通テスト利用)
西日本工業大学 工学部 総合システム工学科(共通テスト利用)

『受験生になる人に向けての注意点』

大学進学を目指す人は2年次の春ごろから参考書などを活用して、毎日3時間でもいいから勉強しておいた方がいい。自分は1年次のときの勉強では完璧と言えるほどの知識を得ることができなかったのも、本当に早めに始めておくのが吉だと思う。具体的には、数学は青チャートを3~4回繰り返し解き、特に苦手な分野を中心に反復することで解けるようになる。物理はいろんな参考書や過去問をひたすら解き、分からなかったらすぐに先生に聞き、出来ないところをそのままにしておくのではなく迅速に問題解決に向き合うことが大切だ。自分の経験として、一番頑張りたいのは英語だ。英語は一年で身につけることができる教科ではない。最近文系理系関係なく、英語は必須であることが多々ある。共通テストでは他教科が100点満点、英語は200点満点と配点が高いため、必ずやっておいた方がいい。結果として言えることは、どんなことがあっても勉強は継続することが大切だと思っている。分からない所を何度も解くことでいずれ出来るようになるため、是非諦めないで受験勉強に勤しんでほしい。

西日本工業大学 工学部 総合システム工学科 電気情報系(学校推薦型選抜 指定校)

『合格するまで』__写真部

西日本工業大学の推薦入試は、面接と数学 I のテストだけなので、集中して数学 I の勉強ができました。私は先生からもらった過去問や問題を中心に勉強をしました。試験日の約2週間前から毎日放課後1時間程度残って先生に数学 I を教えてもらいました。また、すきま時間がある時は公式を覚えたり、家庭での学習では何も見ずに解くことができるようになるまで何回も同じ問題を解いたりしていました。試験の内容は、過去問に似た問題が多く出たので、過去問を何も見ずに解くことができるまで勉強すれば、試験の時は落ち着いて解くことができると思います。面接は練習で聞かれないことを聞かれたので、自分がどうしてその大学に進学をしたいのかの明確な理由を持っていた方がいいと思いました。志望理由を言う時には、自分が覚えて話すことができる長さで、話をする内容をまとめておくといいと思います。私の場合は、2週間前から面接指導が始まりました。クラスの副担任の先生や担任の先生に面接を見てもらい、アドバイスをもらいました。面接の内容は、昼休みなどの隙間時間を利用して覚えるようにしていました。合格発表日までは、共通テストに向けて勉強をするなど、次の準備に向けて勉強していた方がいいと思います。

九州情報大学 経営情報学部 情報ネットワーク学科(総合型選抜)

『自信がつくまで努力』

合格するまでにやってきたこととして、まず勉強は3年になってすぐに始めた。昼休みはずっと勉強して、放課後も残って勉強した。さらに土曜日や日曜日、祝日も学校にきて勉強していた。夏休みも朝早くから学校にきて勉強することをほとんど毎日継続していた。面接練習は放課後に残って完璧になるまで何度も何度も練習した。入試では、面接の練習を何度もしていたことから自信はあった。しかし過去の受験報告書もなかったため、情報が少なく不安でいっぱいだった。総合型選抜が不合格だったら共通テスト利用で受験するつもりだったが、やるだけやってきたので合格する自信しかなかったため気楽に受けることができた。合格する自信が出るまで努力したら緊張にも負けず全力が出しやすくなると思う。

西南女学院短期大学部 保育科 3年制コース(学校推薦型選抜 指定校)

『自分の思いを伝える』__バレーボール部

私は合格するまで、特に面接に力を入れて何度も練習しました。先輩方の受験報告書を参考に面接対策をしました。面接では、学校が作っている予測した質問をまず考えることも必要ですが、各進学先の過去の受験報告書を見ながら面接練習をすると、より効果的だと思うので、後は何度も練習を重ねるだけでいいと思います。実際の入試では緊張しますが、とにかく笑顔でハキハキとすることが一番大切です。また、志望する進学先に絶対入りたい!という自分の思いをどれだけ伝えられるかが大切だと思います。そのためにも、オープンキャンパスには、参加することでたくさんの情報が得られるので、できるだけ行った方がいいと思います。どれだけ練習をしても、本番では予想していなかった質問を聞かれることもあります。焦らず落ち着いて頑張ってください。